

洋書輸入協会会報

VOL. 6
NO. 1

(通巻57号) 昭和47年1月

謹んで新春の

御挨拶を申し上げます

理事長 司 忠



年 頭 雑 感

服 部 正 喬



明けましてお目出度うございます。

昨年の最大の事件は所謂ドルショックでありましょう。8月にはいってからニクソン米大統領の金交換停止の発表、その後での米国の為替の変動相場制への移行、そしてあの12月19日、佐藤総理がテレビ放送した10ヶ国蔵相会議の決議による国際通貨（IMFに登録されている各国の通貨の多国間調整の成立でありましょう。其結果ドルは360円の固定相場から変動相場制にうつり、更に308円の固定相場に落ち着くことになった。この固定相場の決定により、我々の長い間悩んでいた不安感は一応一掃されることになった。しかし弗は中々強く変動幅内の動きは現在の処日本に不利である。弗の建値がきまっても其維持継続には種々と問題がある。1950年代の初めにCIEのドン・ブラウン等によってきめられ、今迄続けられて来た1弗400円の建値が二十何年目に始めて変更を加へられることになったが、今回も強固な新建値として維持したいものである。1931年12月の13日蔵相高橋是清翁が金解禁を停止してから円貨の変動暴落によって受けた輸入業者の不安感と経済的打撃を追想すると、あれから恰度40年、今や業界には洋書輸入協会が厳存し、業界人相互の共存共栄を協会目標として活動しているから、当時の業者が受けた苦悩不利益は充分に防衛出来る筈ではあるが、改めて斯様の意味の自粛の必要を強調したい。「鎖の力は其の最も弱い環によって代表される」と云い、又「地震の大きさは地殻の最も弱い部分によって代表される」と聞く、不当の競争は避け、共存共栄の協会目標の堅持のためにお互い自粛したいと思う。

輸入図書の大きい部分は米書であるから、弗の価格の引下げにより、図書購入予算を削減してもよいだろう等と、神経的な官庁側での憶測がないでもあるまいが、現実には、科学の急速な進歩は寧ろ爆発的（猪木博士）であり、設備投資を止めても開発投資だけはつづけて行かねば業界の進歩について行けないとの考へも強い。又19世紀後半の科学の進歩は人類福祉の増進に大いに役立ったが、20世紀になってから、科学が戦争と結びついて進歩し、又事業と結びついて発明が実現しているため、科学の進歩発明は主に公害其他のかって想像していなかった分野の研究や法理の必要のための学術研究は非常に接迫して来て居り、新研究の文献は勿論其他の洋書の必要性は、益々増強される事は当然の帰結であって、洋書業界は更に更に忙しくなる事と想像される。

戦後、洋書輸入再開のとき、協会は、官庁からの注文図書の前金払を受けるために、所謂予算令——予算決算会計令——の57条の改正を実現して、我々輸入業者は官庁から代金の前渡を受けたこともあった。雑誌代金の予約前払は欧州諸国では以前から励行されていると聞くが、我等はこの会計令の規定があるに拘はらず、前払は現在殆んど行はれていない。関係当局の充分な同情ある理解を得て、その協力のもとに、前金払、少くとも予約雑誌代金の官庁前払が実現されることになれば、業界にとって大慶事と云はねばならない。勿論これを実現するには、周到な調査や根廻しと長期に互る努力が必要であるが。

昨年11月3日文化の日、昭和6年来私の厚知の安井琢磨博士が文化勲章を受けられた。昭和35年頃と思うが、癌研究で有名な吉田富三博士が文化勲章を受けられた。非常に親しい身近い感じがするお二人が文化勲章を貰はれたのは、大変な栄誉、人ごとならず私には喜びであったが、夫に劣らず喜びに堪へないのは、昨年協会の司忠理事長が勲一等瑞宝章を受賞されたことで、これについては協会から既に祝詞をお贈りしていますが、勲一等といへば出版界全体としても未曾有の栄誉であり、この事は協会にとって正に一大盛事一大慶事である。本年年頭の挨拶に当り、私は改めて理事長に対し深い敬意を表し、併せて其健康長寿を祈ってやみません。

理事会及び懇談会及び臨時総会報告

12月10日（金）理事会。

理事会

(一) 渉外委員会より。（山川氏）

OCSより Air Cargo の諸問題につき理事会と懇談したい旨の申し入れがあった。

……検討の結果機会を設けることとする。

(二) 総務委員会より。（柴田氏）

11月月分収支計算・予算対比表検討。

……洋書まつり費用の会計上の取扱いを、総務委員会に検討方付託することとする。

(三) Agent List 編集委員会より。（柴田氏）

大体順調に進行中。

四 通関委員会より。（柴田氏）

Pergamon の 円価表示 invoice の通関方法の件。

協会員以外の洋書輸入業者に対する税関側の要望事項の伝達。その実施方法については次回通関委員会におい

て検討する。

(d) 規約改正に関する総会開催準備の打ち合わせ。

(e) 文化厚生委員会より。（渡辺氏）

新年会の件。

(f) その他情報交換。

12月15日（水）臨時理事会。

臨時総会の議事進行に関する打ち合わせ。

12月15日（水）臨時総会。於出版クラブ。

(一) 出席 31社

委任状 22社 計 53社

(二) 開会の挨拶。（福田氏）

規約改正を行い、広く門戸を拡げて量質共に業会の発展を計りたい。

(三) 規約改正案の提出。

提案要旨の説明。（相良氏）

逐條説明。(柴田氏)

(4) 審議。

雄松堂新田氏、三品書店三品氏、ナウカ久保氏、U P S 上杉氏等より活潑な質疑、意見が出され討論が行われる。

(5) 可決成立。

(6) 各委員会報告。

通関委員会より。(柴田氏)

Agent List 編集委員会より。(柴田氏)

洋書交換委員会より。(服部氏)

文化厚生委員会より。(栗原氏)

東大門問題経過報告。(相良氏)

(7) 門問題に関する情報交換。

(8) 閉会の挨拶。(福田氏)

12月20日(月)臨時理事会。

12月21日(火) //

12月22日(水) // O C S と懇談。

12月23日(木) //

12月27日(月) //

12月27日(月)懇談会。

(9) 固定相場制復帰とその業界への影響に関する意見交換。

(10) O C S 問題報告。(相良氏)

新 年 パ ー テ ィ

門切上げに伴う諸問題を抱え、新しい年を迎えた協会では、沈滞気味の空気を一扫すべく恒例の新年パーティを1月7日(金)丸の内プレスクラブにおいて催した。

年を追うごとに盛大さを加え、今年は会員50社107名、Rep. 18社33名の計140名と参加者は前年を大きく上回った。

開会5時30を分すぎた時には全員が勢揃いし、文化厚生委員長の洋販・渡辺理事のユーモアたっぷりの名司会で協会理事長代理の丸善中田常務より、「門切上げによる激動の年ではあるが、ジャーナリズムの言う不況ムードの宣伝にのらず、業界は一致団結、Outsiderともお互に協調し、

業界の繁栄への道を我々独自で切り開こう」との新年に際しての挨拶に始まり、Rep. 代表としてイースタンブックサービス社のディクライプロウ氏の日本語による挨拶も喝采をあげた。業界長老の国際書房・服部社長の熱弁もあり充実したひとときであった。

そのあと参会者相互のなごやかな歓談がつづき、6時30分、紀伊國屋書店・相良理事より閉会の挨拶があり、三洋出版貿易の鈴木社長の寮歌祭で鍛えた美声で景気よく「手じめ」が全員で行われ盛会裡に幕をとじた。

(洋販・柴山記)



中田理事長代理の挨拶

洋書学ことはじめ (XI)

製本のこと (6) クロースの種類

八 木 佐 吉

製本用クロースは他の表紙材料にくらべて、

安価

種類多い

色調自由

耐久性あり

箔押し、空押し可能

加工容易

などの特徴があり

水に弱い

などの欠点もあるが

防水クロース

もできていて

印刷加工

も可能である。

さて、その種類の代表的なものを下記する。

本 (ほん) クロースまたは布クロースは綿布、麻布またはスフ織物を材料とする。

特殊の塗料を塗布して、平滑に仕上げ、製本工程で下糊などがしみ出さないようにしたもので、工程中の、のび縮みがないもの。そのほか図書の表装用として、いろいろの条件が満たされているもの。

仕上げ具合からは

(A) エンボス 型付き仕上げには

ちりめん状のもの

縄目

杉目

斜子

雲形

革目

絹目

つぶし目 など

(B) プレーン 絨 (ぬめ) 仕上げには

ベラム仕上げ

カンブリック //

カンバス仕上げ

バックラム // がある。

cloth という一般的称呼とは別に、仕上げと原糸または原織布による区分は

I : Cambric カンブリック

堅牢で薄地平織のカナキン (金巾) で、光沢を出したもの。北部フランスの地名 Cambrai に由来する名称といわれている。

II : Buckram バックラム

太糸で粗く織った布。織目がでているのも特長である。麻が本格ものだが、もちろん木綿ものもある。ウズベックの Bokharm (Bukhara) の地名に由来するという。これには普通もののほか

Legal buckram

主として法律書の装幀に使うリーガル、バックラム

Library buckram

堅牢を旨とする図書館向き表装用、

Oxford buckram

と呼ぶオックスフォード大学出版部またはクラレンドン・プレスで特製したもの。Oxford 字典群などでおなじみのバックラムがある。

III: Canvas または Duck

カンバスまたはダック。帆布とかズックと普通よんでいる。亜麻、苧麻、木綿の太番手（太糸）であらう織った布で織目が目立つ特長がある。Kelmscott Press の私家版の製本には背にカンバスをしばしば使っている。

IV: Linen リネン

亜麻布、織目が明らかな種類。

Linen cloth

普通の綿クロスをリネンに似せたもの。

その他

Art vellum アート・ベラム

Art linen アート・リネン

Art canvas アート・カンバス

Morocco cloth モロッコ・クロス

などがある。

なお、化繊糸などの織布で製造したクロスで、それぞれの製造会社特有の名称をつけた銘柄クロスがある。辞典とか百科事典の装幀の説明文に

Fabrikoid ファブリュイド

Leatherrex レザーレックス

Rexine レキシ

などの名称がときどき出てくるのはご承知の通りと思う。しかし、この様なクロス名と現物はなかなか結びつかないもので、現品を手にして、学びとり、知ることが大切であること言うまでもない。従って、購入の読者がたに Fabrikoid とか Rexine 装ですといっても、これはなおのことご理解がつかないと思う。洋書輸入の各店で出す目録や案内文には、むしろ特製のクロス装とか擬革装と書いた方がよいかもしれない。

paper-cloth 紙クロス—擬布

紙を下地にしたクロスまがいで織目などを型づけし

たものである。加工の上手なものは一見ほん物の布と間違える程であるが、所詮は偽ものである。多くは仕上りコストの計算上から本物をやめて擬物を使用する訳であろう。耐久力が弱いから、じきに角などがこすれてボロを出すことになる。

artificial-leather, imitation-leather — 擬革原料は

織布または紙で、表面を皮革に似せて仕上げたもの。

布の場合は leather-cloth ということもある。

レザーまたはレーザというと、東京では明治大正時代から擬革を意味していた。筆者の記憶では下駄やさんで鼻緒を撰ぶとき、本天（ほんピロードの鼻緒）とか本革のほかには、同じ呼び方をしていると思う。それ故に、いかに横文字バヤリの世の中でも、leather ならぬレーザがあることを知っていていただきたい。

以上のほかに

boards 厚紙装

というのに使う表紙材がある。これは厚紙といっても板紙の類を芯にして、その上張りに特殊の紙を用いるので、多くの場合

ケント・ワットマン類

ラシャ紙

マーブル紙（各種模様の）

局紙（Japanese Vellum）

染紙

模様型付け紙

などで化粧張りをする。製本表装用としての特澁紙もあるが、大概は一般工芸品用などと共通である。

紙表紙製本で板紙の芯を使わない紙だけの薄いフレキシブルの場合は、上記のような紙の中のやや厚手の物を利用するが、それぞれの好みを活した気のきいた装幀をとぎに見かけることもある。

表紙材料の話はこの辺で一応おわることにしたい。

遊 米 雑 録

小 沢 慶 之 輔

昭和45年夏から一年程工業所有権制度研究のため渡米した。途中機内で読んだ雑誌に、アメリカでは段々本が読まれなくなり週刊誌すら旅の飛行機内でしか読まれなないと書かれてあった。

そんなわけで出版社も本の売り込みに苦心をするのであろう。米国ではブッククラブが盛で、週刊誌などに広告がよくでている。一定の本のうち、3乃至4冊を1ドルで買ってクラブに入ると書いてある。クラブに入ると毎月本のリストを送ってくる。このうちから年に少なくとも4冊を注文しなければならないし、そうすればいつでも脱会もできる。大抵最初の広告にでている本は最近のベストセラー等もあって魅力的にできているが、後から送ってくるリストには二流のことが多い。リストと一緒にカードがついていて、クラブが選んだ「今月の本」が印刷してあり、他に会員が希望する本と、今月はいらないと書き込む欄があって、その何れかに記入して送り返すことになっている。大変巧妙であるのは、5日以内に送り返さないとときは自動的に「今月の本」を注文したことにさせられることで、これを怠ると欲しくもない高い本を買わされることになる。「今月の本」は大体高価である。クラブの本は市価より安いとあるがそのための特注で作られるらしく、装丁は一般に貧弱である。

世界的に有名なある百科辞典の出版社は、いたる処の本屋やドラッグストアにちらしを配布していた。ドラッグストアで買い物をしたときこのちらしを貰った。数項目の質問事項に印をつけて送り返すとヨーロッパ旅行や複製の名画が当たるかもしれない。数日して出版社から電話が入り、好運にも貴方は絵が当たったので何日何時に貴宅へ伺いたいというのであった。二人のセールスマンがやってきて、絵のカタログから好みのものを選ばせた後で、色刷の多くの資料を拡げて辞典の説明などを始めた。買うつもりはないので説明はいらないうと、「興味がある」とアンケートに

答えたのは買いたいということでないのかと凄み出した。結局この二人に帰ってもらうのに二時間程汗を流して云い訳をしなければならなかったし、複製の絵もふいにした。

本を買う目的の一に「つんどく」のがあちらにもあるようである。ある人は室内装飾のために買う。法律事務所は威厳を繕うために背に金文字のある古本で壁面を飾る。たまたま古本の市があった。ある大学が図書館に新しい本を入れるために古い本を整理した。装飾用の本はこういう所で安く買えるし、中には堀出し物もあるのかも知れない。あるレストランバーは壁面のいたる所に本を飾ってあって、どう考えてもこの薄暗い所では読むためのものである筈はなかった。

日本人は収入の割に本を沢山買うと思う。アメリカ人は個人用にはあまり買わないようである。図書館が完備して利用し易いためでもあらう。大学の図書館も立派なものが多く、学生は教科書以外は図書館の本で間に合う。立派な閲覧室もあって、こゝで本を読む傍デートの相手も見付ける。紙折の飛行機をこれと思う相手に飛ばしたりする。本の借り出しも簡単で、好きな本を自分で探して出してきた学生証を示して記録してもらう。返すときは郵便ポストのような箱の中に放り込んでおけばよい。半年位は借り出せるようで一学期間は間に合う。学期が終ると教科書すら売ってしまう。このため期末には本屋の前に学生が列を作る。新学期に新入生は「USED」とゴム印の押されたアンダーラインで一杯の本を割安に買うことができる。

書評などを中心に書かれた異色の週刊誌の「SATURDAY REVIEW」を愛読した。編集主幹のノーマン・カズンズが健筆をふるっていて良識の存在を示している。アメリカはベトナム政策で誤りを犯したので、戦争から手をひき復興建設に奉仕することのみが残された唯一の贖罪の道であると説く論説が忘れられない。(弁理士)

= EDITION PETERS =

V. E. B. Edition Peters, Leipzig
C. F. Peters Corporation, New York
Edition Peters, Frankfurt
Hinrichsen Edition LTD., London

楽譜でペーター版といえば、外国で出版された楽譜の代名詞のように使われて日本の音楽家・音楽愛好家に親しまれています。

このペーターズ出版社は現在では東西ドイツ、米国、英国の四ヶ所に独立した出版社として世界の楽譜市場をおさえています。

その設立は1800年にカルル・フリードリッヒ・ペーターズによってキュネル、ホフマイスター両社の業務を買いとりそれをもとに事業を拡大し、バッハ、ベートーベン、ハイドン、シューマンの作品を出版し、1893年に現在のペーター版を開発しました。フリードリッヒの死後(1900) ヘンリー・ヒンリクセンがペーターズ社のオーナーとなり現在のペーターズ社の基礎を創りました。その後ブラームス、グリーグ、マーラー、レーガー、リヒアルト・シュトラウス、シェーンベルグ等を援助して来ました。ヒットラ政権時代に入りヘンリー・ヒンリクセンの2人の子供は英国、米国に渡り、1937年兄のマックス・ヒンリクセン(死去)はロンドンにヒンリクセン社を設立してペーターズ版出版の業務を始めました。弟のワルター・ヒンリクセン(死去)は1936年にニューヨークでC. F. ペーターズ社を設立し業務を開始しました。フランクフルトのペーターズ社は才二次大戦後1953年に設立されました。ライプツヒのペーターズ社はヒンリクセン一家がライプツヒを離れた後、又戦後はスタッフ等も全く新しく業務は継続されて現在にいたっています。

才二次大戦後ワルター・ヒンリクセン氏は来日しており、二度目の来日を予定していましたがその目的を果さず死しました。ライプツヒのペーターズ社の代表パーシク氏は1971年4月D.B.E.I.代表団の一員として来日して協会のメンバーの方々と親しく懇談されています。現在各国の四社とも創立時代のペーターズ版の継続と同時に現代作曲家、若手作曲家の作品をどんどん取上げその作曲活動に援助をすると同時にその作品の出版に力を注いでいます。特にニューヨークのペーターズ社は黛敏郎、武満徹、高橋悠治氏等現代日本のすぐれた若手作曲家の作品を意欲的に出版し、全世界の楽壇で高く評価されています。

海外 ニュース

「ハーパーがバーンズ・アンド・ノーブルのペーパーバックを買取る」

Harper & Row は、Barnes & Noble が出版してきた数種のペーパーバックのシリーズの在庫品、版權等を取得した。買取価格は不明だが、これらのタイトルの年間売上高は約400万ドルに上るものと見られている。

今度の Harper 出版及び販売のプログラムに入ったのは、Barnes & Noble College Outline series, the Everyday Handbooks, the Barnes & Noble Art series 及び Barnes & Noble dictionaries などのペーパーバックのシリーズと、Barnes & Noble の輸入タイトル、the Professional Engineering Career Development series 及び International Textbook series の主要タイトルである。

云うまでもなく、これらの本のオーダーは、Haper & Row の他のタイトルと全く同じ扱いとなる。

(Publishers' Weekly, 1971年12月13日号より)

「ハワイの出版社の統合」

ハワイの学術出版社 The University of Hawaii Press と East-West Center Press が統合され、The University Press of Hawaii という新組織になった。この新出版社の出版する全タイトルはUPHのインプリントが付されることになるが、E-W Center のタイトルには“An East-West Center Book” というサブインプリントがつく。

新社のディレクターには、University of Hawaii Press の前ディレクター Robert W. Spacks が就任した。

新社のアドレスは、535 Ward Avenue, Honolulu 96814 (telephone, 808-536-6051; cable UNIHAW) である。

(Publishers' Weekly, 1971年12月13日号より)

— 紀 伊 國 屋 提 供 —

ニュース

● 円の切上げ決定

1 ドル=308円 16.88%の大幅切上げ

ドル切下げ 7.89%

変動幅 2.25%に拡大

通貨の多国間調整が決着し、円の切上げがついに決定、12月20日より実施されることとなった。

● 主要国通貨の新基準外国為替相場発表。

日銀は12月23日、主要各国から正式連絡を受けた新しい基準外国為替相場と切り上げ率、これに基づく裁定相場をまとめ下記の通り発表した。

主要国通貨の外国為替相場 (23日現在)

国名	通貨単位	1米ドルにつき各通貨単位		対米ドル 切り上げ 率(%)	基準裁定相場 (円換算)	
		新レート	旧レート		新レート	旧レート
米 国	ド ル	(金 1 オンス=38ドル)	(同35ドル)	—	308.00	360.00
英 国	ポ ンド	(0.383774)	(0.416667)	8.75	802.56	864.00
カ ナ ダ	ド ル	変動相場	(1.08108)	—	建てず	353.00
西 独	マ ル ク	3.2225	3.66	13.58	95.58	98.36
フ ラ ン ス	フ ラ ン	5.1157	5.55419	8.57	60.21	64.82
オ ラ ン ダ	ギ ル ダ ー	3.2447	3.62	11.57	94.92	99.45
ベ ル ギ ー	フ ラ ン	44.8159	50.00	11.57	6.8726	7.20
イ タ リ ア	リ ラ	581.50	625.00	7.48	0.5297	0.5760
デ ン マ ー ク	ク ロ ー ネ	6.98	7.50	7.45	44.13	48.00
ノ ル ウ ェ ー	ク ロ ー ネ	6.64539	7.14286	7.49	46.35	50.40
ス ウ ェ デ ン	ク ロ ー ネ	4.8129	5.17321	7.49	63.99	69.59
ス イ ス	フ ラ ン	3.84	4.08415	13.88	(80.21)	(88.15)
オーストリア	シ リ ン グ	23.30	24.75	6.22	13.22	14.55
オーストラリア	ド ル	(0.839631)	(0.982857)	6.34	366.83	403.20
ポ ル ト ガ ル	エ ス ク ー ド	27.25	28.75	5.50	11.30	12.53

〔注〕①日銀が各国政府、中央銀行から正式通知を受けたもの②英ポンドの基準相場はドル建てで新レート1ポンド=2.6057米ドル(旧レート、同2.40米ドル)③スイス・フランの対米ドル切り上げ率は71年5月の切り上げ前の平価に対する比率、同裁定相場はIMF加盟国でないため公示されない。④オーストラリア・ドルの基準相場はドル建てで新レート1オーストラリアドル=1.1910米ドル(旧レート、同1.1200米ドル)
(日本経済新聞より抜萃)

会 員 紹 介

株式会社マテマティカ Mathematica, Inc.

代 表 者 福 本 理

本郷の老舗、福本書院から国際書籍部が独立したのは昭和39年5月のことであるが、これは文科・社会系を中心に取扱っていた本家から理工書とバックナンバーを専門に取扱うため分離されたものである。この国際書籍が株式会社マテマティカと改められ、東京大学正門近くの現在地に移転したのは、つい4か月前昭和46年9月のことである。

ラテン語の社名が示すとおり、各国の数学書専門店、福本社長によれば、「数学は現代においてコンピュータ、情報処理、ORを始め、その関連分野は極めて広く、客先も多岐に亘っている。従って底辺の広い需要層がある。」とのことで、海外新刊書ニュース“MATHEMATICA”を毎月発行し活発な情報活動を通じて専門店としての基盤を着々と礎いている。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

(株) 極 東 書 店 ☎ 265-7531

Zentralantiquariat der DDR

Der Hülferuf der deutschen Jugend・

Herausgegeben und redigiert von einigen deutschen Arbeitern (d. i. Wilhelm Weitling). Mit der Fortsetzung: Die junge Generation. 21 Lieferungen (alles Erschienene) in 1 Band. Genf, Bern, Vevey, Langenthal und Zürich 1841-1843 360 S. Nachdruck 1972. Leinen.

ca. ¥5,200

丸 善 (株) ☎ 272-7211

Talvelt, H. et J. Place (eds.) -

Bibliographies des Auteurs Modernes de Langue Francaise de 1810 a nos Jours.

ca 30 Vols. (Now 19 Vols. ready)

(Editions de la Chronique des

Lettres Francaises, Paris) 19 Vols. ca ¥328,400

(株) 南 江 堂 ☎ 811-7234

Surgical Disorders of the Peripheral Nerves.

by H. Seddon 1972 (Feb.) ca. 350 pp. (Churchill

Livingstone, London & Edinburgh) ca. ¥8,100

Bergey's Manual of Determinative Bacteriology,

8th edition 1972 (Apr.) (Williams & Wilkins,

Baltimore)

in prep.

Progress in Neurological Surgery. edited

by H. Krayenbühl

Vol. 1 1967 316 pp.

¥ 7,090

2 1968 416 pp.

¥ 9,350

3 1669 432 pp.

¥10,450

4 1971 497 pp.

¥19,250

(S. Karger, Basel)

ひろく一般からの投書を募ります！

テーマ：洋書輸入協会にのぞむ

- 字 数：400 字内外
- 投稿〆切：毎月末
- 誌上とく名を認めます
- 取捨及び多少の加筆訂正については会報委にお委
せ下さい
- 掲載分には薄謝を進呈
- 送 附 先：協会事務局宛

会員の横顔

郁 文 堂

橋 本 晟

この欄も本号で二年目を迎えることになった。名簿順に登場を願っているので別に作為をした訳ではないが、初春に御紹介するのに橋本さんは相応しい方のような気がする。協会の多士済々たるメンバーの中で、若侍の風格を備えている一人のように思われるからである。それも並の勤番侍ではなく、事ある時はお家再興でも何でもやっつてのけそうな、ファイトに溢れた若侍といった感じがする。

昭和13年の東京生れで37年早大独文卒。しばらく浪人生活をしていたが、教授から「お前は独文の余りものだから、あそこに行け。」と云われて、何をするのかも知らず38年秋に郁文堂に入社。初は出版編集の仕事などにもたずさわったが、校正などしていると頭が痛くなってしまうので弱ったという。洋書部に入ってから、だんだんと仕事が面白くなり、戦後は先生方へのサービス程度だった同社の洋書部の拡大を図る。その手はじめに「IKUBUNDO GERMANISTIK」という250頁余のカタログの編纂を一人でやっつてのけ、一挙に売上倍増の成果をあげる。その御褒美(?)として43年に約2ヶ月のヨーロッパ出張旅行。このカタログは筆者なども時々利用させていただく恩恵に浴しているが、大学を出て数年でこれだけの仕事を残されたことに敬服せざるを得ない。彼が唯の「余りもの」ではなかった証拠とも云えよう。

協会の集まりに顔を出すようになって間もなく、彼は酒豪の名をとってしまったが、その方は18才位からたしなむようになったとのこと。お酒も強いが井の方も強く3段格。協会の同好会では四強か五強の一人に入る腕前である。麻雀も相当なものらしいが、御当人の言を借りれば「四回ともあがろうとするランボーな麻雀」だという。

もうそろそろ独身生活に終止符を打って、と水を向けたが、「そうですよネー」とその気があるようなないような返事でばかされてしまった。(自宅：練馬区小竹町2-39-12)



●新刊リプリント御案内／今春3月入荷予定

イギリス産業革命の発展とその社会史的影響 The Development of Industrial Society

(Irish University Press)

全44点 セット価 413,000円

イギリスにはじまる産業革命の発展とヨーロッパおよびアメリカへの波及の過程を、とくにその社会的諸結果に焦点をあわせて論究した名著のリプリント版シリーズ。産業社会の発展は、都市の成長と大気汚染をはじめ環境の悪化、社会の流動性の増大、農業の衰退をもたらした反面、民主主義的風潮を高め、民衆教育の向上と文化の普及を助成しました。

アメリカ労働史Ⅱ American Labor Ⅱ

From Conspiracy to Collective Bargaining

(Arno Press)

全46冊 セット価 235,800円

同時代の記録、文書、研究書にその歩みを生きいきと語らせる「アメリカ労働史」研究双書。第2集はとくに労働係争、戦時下の労働問題、労働組合運動、生産、経営と能率向上、失業の問題、婦人労働、産業別労働者の実態を詳述した著書を取録。

アメリカ教育史Ⅱ American Education Ⅱ

Its Men, Ideas, and Institutions

(Arno Press)

全46冊 セット価 251,300円

アメリカ教育史はようやく新しい視角から再評価されるようになりました。個人とコミュニティ、マイノリティと政府の教育政策、公教育と社会教育、教育実践の改革とその哲学的・理論的展望、教育立法、等々にかんする歴史的名著のリプリント。

(上記3シリーズについて詳しい資料を用意しています。ご一報ください。)

日 本 総 代 理 店

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

〒102 東京都千代田区麹町4-1 志村ビル Tel 262-5278

昭和47年1月 通巻第57号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329